令和7年度事業報告

Ⅰ　会議報告

1. 理事会

① 令和7年5月20日…役員職掌選任、委員会委員長選任

② 令和7年10月15日…事業中間報告、収支決算中間報告

③ 令和8年5月20日…事業報告、収支決算報告、
令和8年度事業計画案、令和8年度収支予算案、
第32回測量行政懇談会を受けての地調協の対応方針

2. 業務執行理事会

① 令和7年6月18日 第1回業務執行理事会

審議事項

・令和7年度以降の外部組織への委員等役割分担について

・令和7年6月23日（月）、地調協シンポジウムの実施について

報告事項

・令和7年4月末 財務状況報告（貸借対照表、損益計算書、残高試算書）
並びに、同5月末 財務状況報告（貸借対照表、損益計算書、残高試算書）

・新役員の登記に関する進捗状況について

・令和7年度、「くらしと測量・地図展」について

・令和7年6月13日（金）、令和7年度第1回委員会委員合同会議について

・会員の異動報告

② 令和7年7月16日 第2回業務執行理事会

審議事項

・6月第1回業務執行理事会 議事メモについて

報告事項

・令和7年6月末 財務状況報告（貸借対照表、損益計算書、残高試算書）

・新役員の登記に関する進捗状況について（その 2.）

・6月13日（金）令和7年度 委員会体制キックオフ会議について

・6月23日（月）シンポジウムについて

・岩舘隆地調協理事辞任について

・会員の異動報告等

③ 令和7年8月20日 第3回業務執行理事会

審議事項

・7月第 2 回業務執行理事会 議事メモについて

・「地図カフェ」開催について

・「地図展 2025 さいたま」について
・10月の理事会について
・総務委員会と事務局業務について
報告事項
・令和7年7月末 財務状況報告（貸借対照表、損益計算書、残高試算書）
・新役員の登記に関する進捗状況について（その3）
・7月18日（水）及び8月19日（火）企画・広報委員会
・7月23日（水）技術委員会
・会員の異動報告等

④ 令和7年9月17日 第4回業務執行理事会
審議事項
・8月第3回業務執行理事会 議事メモについて
・「MAP1 グランプリ」開催について
・10月の理事会について
報告事項
・令和7年8月末 財務状況報告（貸借対照表、損益計算書、残高試算書）
・9月10日（水）技術委員会
・国土地理院からの依頼 3 件
・寄贈地図について
・会員の異動報告等

⑤ 令和7年11月19日 第5回業務執行理事会
審議事項
・総会決議の書面表決について
・地図調製技術協会における生成 AI 活用及び協会出版物著作権に関する規程・方針の策定について
・「国土情報基盤整備促進議員連盟」総会について
報告事項
・令和7年10月末財務状況報告（貸借対照表、損益計算書、残高試算書）
・【国土地理院】「地理空間情報活用推進基本計画」の策定に係る測量行政分野に関するアンケート調査
・【国土地理院】総合評価落札方式（基本測量業務）に関するアンケート調査
・【国土地理院】3D 電子国土基本図ヒアリング報告会（10/24）
・第3回技術委員会（10/23）
・第3回企画広報委員会（11/14）
・賛助会員の新規加入について
・会員の異動報告

⑥ 令和7年12月17日 第6回業務執行理事会
審議事項
・「国土情報基盤整備促進議員連盟」総会（12/10）
・国土地理院地理空間情報部ヒアリング（12/11）
・文化庁「未管理著作物裁定制度の運用」についての説明会（12/2）
報告事項
・令和7年11月末財務状況報告（貸借対照表、損益計算書、残高試算書）
・総会議決の書面表決について（途中経過報告）
・第4回技術委員会（11/27）報告
・地図展推進協議会（11/19）報告
・「くらしと測量・地図展」協議会（12/3）報告
・北海道地図㈱ 代表者の交代について
・会員の異動報告について

⑦ 令和8年2月18日 第7回業務執行理事会
審議事項
・第35回理事会及び令和8年通常総会の日程（案）について
・令和8年度、事業案及び予算案の作成について
・「TEC－FORCE パートナー」としての位置づけ及び協定文書の更新について
・ジオ展出展について
・「くらしと測量・地図展」の展示参加の可否について
・国土地理院地理空間情報部ヒアリング（2/27）について
報告事項
・令和8年1月末財務状況報告（貸借対照表、損益計算書、残高試算書）
・総会議決の書面表決報告（議事録）
・国土地理院長挨拶（1/8）報告
・文化庁「分野横断権利情報検索システム」について
・G 空間 EXPO2026（1/28～1/30）報告
・地図ジャーナル No.192
・地調協のサイトリプレイスについて
・地図展2026開催概要
・NTT インフラネット正会員の退会届提出・会員の異動報告について

⑧ 令和8年3月18日 第8回業務執行理事会
審議事項
・理事会（5/20）資料（案）について
・令和8年度、事業案及び予算案の作成について
・令和8年度、役員体制について
・ジオ展出展（4/28）について
・国土地理院地理空間情報部ヒアリング（2/27）結果について

・地図ジャーナル（旧刊）の取扱いについて
・GIS NEXT からの原稿執筆依頼について
報告事項
・令和8年2月末財務状況報告（貸借対照表、損益計算書、残高試算書）
・測量の日実行委員会・幹事会（2/20）報告
・広報推進協議会（3/4）報告
・国土地理院「第32回測量行政懇談会」（3/4）報告
・文化庁「分野横断権利情報検索システム」の運用開始（2/26）について
・会員の異動報告について
・測量事業関係功労者表彰（国土地理院長表彰）の予定について

⑨ 令和8年4月15日 第9回業務執行理事会
審議事項
・理事会（5/20）資料（案）について
・第32回測量行政懇談会（3/4）議事録の解説と論点について
報告事項
・令和7年度末財務状況報告（収支計算書、貸借対照表、正味財産増減計算書、
財産目録、令和7年度最終決算報告について）
・令和7年度会計監査（4/8）報告
・令和8年度「くらしと測量・地図展」第2回協議会（書面開催）報告
・令和8年度測量業務の入札・契約手続の実施方針等について（情報提供）
・（一財）日本地図センター評議員の交代について
・技術委員会・企画広報委員会合同委員会（4/10）報告
・会員異動報告

3．委員会報告
① 総務委員会
② 技術委員会
7月23日…第1回技術委員会開催、今年度の活動方針他
9月10日…第2回技術委員会開催、3 次元電子国土基本図整備に関する報告会他
10月23日…第3回技術委員会開催、技術研修テーマの確定及び運営体制の調整他
11月27日…第4回技術委員会開催、技術の共通言語化と産業構造整理他
③ 企画広報委員会
7月17日…第1回企画・広報委員会開催、広報情報発信他
8月19日…第2回企画・広報委員会開催、今後の発信強化へ向けての施策案他
④ 技術・企画広報合同委員会
11月14日…地図ジャーナル NO.192について他
4月10日…令和8年度合同キックオフ会議、測量行政懇談会の解説と論点について

Ⅲ 事業報告

1.「くらしと測量・地図」展（新宿駅西口イベント広場）開催

令和7年6月4日（水）～6日（金）【主催】「測量の日」東京地区実行委員会
【共催】東京都、【後援】新宿区

実行委員会構成団体…国土地理院関東地方測量部、（一社）東京都測量設計業協会、
（公社）日本測量協会関東支部、（一社）地図調製技術協会、他

◇来場者数（概数）

6月5日（木）、国土地理院関東地方測量部集計

・4日…約2,500人、5日…約2,200人、5日現在で昨年度の合計人数3,700人超。
周辺の人の流れが昨年より良いように感じられた。

◇TV 取材

5日、TV 東京の取材がありました。

令和7年6月13日放送予定のよじごじ DAYS という番組で、照英氏が新宿駅周辺を散策するという企画で、散策先の一つに会場の新宿西口広場イベントコーナーがあり、たまたま取材時に地図展が開催中だったため取材依頼が来たようです。

主に東京都・小田急電鉄・京王電鉄の古い風景写真等を見つつ MC がコメントする様子を収録していました。明日も同様に撮影したいとのこと。

◇サブテーマ「楽しみながら地図を読み大地を測る－変わりゆく新宿－」

◇特設コーナー 「変わりゆく新宿」展

小田急電鉄、京王帝都電鉄からの展示あり

2.「MAP1グランプリ」開催

◇日時　9月25日(水)19:00～20:45
◇場所　お茶の水ワテラスタワー12階　(株)ゼンリン内　特設会場
◇参加費　大人 1,000 円、学生 500 円(ペットボトルドリンク付き)
◇主催　(一社)地図調製技術協会、地図カフェ実行委員会
◇協力　(株)ゼンリン

〈決勝戦の様子、予選上位3名による接戦が繰り広げられた〉

◇内容等　クイズ形式で40問の問題を出題、上位3名による決勝
◇参加者数　大人35名、学生6名、オンライン参加 18 名
◇収支報告　収入 38,000 円、支出 50,607 円(協会負担金 12,607 円)
◇その他　地図調製技術協会の YouTube に動画をアップ

一般社団法人 地図調製技術協会

MAP1 グランプリ 予選解答用紙
第1～10問

ご芳名	

■問題		■答えの選択肢
問題01	国土地理院1:25000地形図は全国さまざまな図名がつけられていますが、このなかで存在しない図名はどれでしょう？	①:高橋 ②:田中 ③:小林 ④:山口
問題02	平成25年２万５千分１地形図図式で描かれている建物と地図記号の組合せとして、次の中で誤りがあるものはどれ？	① ② ③ ④
問題03	以下は、東海道山陽新幹線の主要な駅です。緯度の高い順（北から）に並べてください。□	①:東京 → 名古屋 → 京都 → 新大阪 → 岡山 → 広島 → 博多 → 新山口 → 静岡 ②:東京 → 京都 → 名古屋 → 静岡 → 新大阪 → 岡山 → 広島 → 新山口 → 博多 ③:名古屋 → 東京 → 京都 → 静岡 → 新大阪 → 岡山 → 広島 → 新山口 → 博多 ④:東京 → 名古屋 → 京都 → 静岡 → 新大阪 → 岡山 → 広島 → 新山口 → 博多

〈優勝者には豪華プレゼントを贈呈〉

3.「3次元電子国土基本図（試作図）評価」ヒアリング結果報告会

国土地理院は、2025年3月26日「3次元電子国土基本図」試作データを公開するとともに、2028年度末までに国土全域の電子国土基本図（地図情報）を3次元化することを発表した。その仕様について、公開された試作データをもとに、外部団体からの意見聴取を行い、その結果に対する検討結果の発表を行った。

（詳細は地図ジャーナル No.192 に特集を掲載）

1. 日時：2025年10月24日（金）14：00～15：30
2. 場所：株式会社昭文社ホールディングス晴海オフィス
3. 参加者数：会場31名、zoom14名、計45名

国土地理院（飯田基本図情報部長、南国土基本図情報課長）

◇3次元電子国土基本図仕様等の検討状況

今まで2次元（XY 平面）の数値地図（国土基本情報）を刊行・提供していたが、建物（建築物）、道路（道路中心線）、鉄道（軌道中心線）に高さ（Z 値＝属性値）を付与した3次元電子国土基本図を数値地図（国土基本情報）として令和8年3月から刊行・提供開始を予定。

接地面標高（地表面）に建物属性値として建物高＝屋根面の高さとして複数の値（25%、50%、75%、100%）を提供することにより、他からの影響（樹木や送電線等）を受けやすい物から本来の建物（屋根面）の推定や把握が可能になる。線状地物となる道路（道路中心線）や鉄道（軌道中心線）は座標値（X,Y,Z）として高さ情報を付与する。

共通事項として付与した高さ（Z 値）の原典情報は属性値に付与することにより元データの作成年や諸元等を明示する。併せて線状地物は補正種別コードを明示することにより補正の有無とその手法を確認できる。試作版を提供し、ヒアリングから得た内容を3次元データの特性を踏まえて追加・拡張することによりニーズに応える形となった。

3次元の追加項目に対して、①付与する高さの原典情報を記載、②当初予定していた建築物の高さ情報を3つの値から6つに拡充、③道路・鉄道には補正を行った旨を記載するコードを詳しく記載する。

◇電子国土基本図をどう使い、どう産業化するか

～社会実装と地図調製技術の再定義～

「整備されたデータは、最終的にどのような“地図体系”として社会に定着するのか」

「人が判断に使える地図として、誰が・どの責任で整え、運用するのか」

しかし、その先にある社会実装の姿については、必ずしも明確に共有されていない。

電子国土基本図の社会実装において、地図調製・編集技術が果たす役割と、そこから派生する新たな産業的可能性について、地調協の見解と問題意識を整理した。

※詳細は、地図ジャーナル No.192 特集に掲載

4.「国土情報基盤整備促進議員連盟」総会

国土情報基盤整備促進議員連盟とは、令和６年７月２３日に発足した地図や地理空間情報などの国土情報基盤を整備・活用する政策を推進するために超党派国会議員によって結成された議員連盟で、災害対策やインフラ整備、デジタル化に役立つ国土情報の充実を目的としている。（会長：衆議院議員　新藤義孝氏）

災害対応から経済活動まで、あらゆる社会活動を支える国土情報基盤。その整備を一段と加速させる方針が、国会の場で明確に示された。連盟総会では、電子国土基本図の3次元化や担い手確保を柱とする決議案が採択され、測量・地図行政を国家戦略として推進する姿勢が鮮明となった。

令和７年12月10日、「国土情報基盤整備促進議員連盟」総会が衆議院第一議員会館会議室で開催され、地調協から田中会長、㈱ゼンリン扇社長室長、鳩谷事務局長が参加した。

冒頭、進藤会長は社会活動の基盤となる国土情報基盤を三層構造で捉える重要性を強調した。正確な位置情報を支える第一層。全国の地図の基礎となる第二層。それらを活用した経済社会活動や災害対応が実現される第三層。第一層、第二層の拡充整備なくして第三層の高度化はあり得ない。

青森県東方沖地震で、国土地理院は地震前後の観測データ（リアルタイム解析結果）を10 分後に速報を出し関係機関に提供した事例をあげ、基盤整備の効果が防災対応に直結していることを示した。また、測量士・補試験では、実務的な試験になり合格者数が倍になった。リスキリングにより技術者のレベルが上がる。議連の活動により、確実に結果が出ていることを示した。

次に、河瀬国土地理院長から国土情報基盤関係の施策について、国土情報基盤（位置情報）の安定的な提供。電子国土基本図の鮮度の確保と3次元化の実現。防災地理情報の整備の強化。測量業界の担い手不足の課題等、測量行政のDX。測量士・測量士補の資格取得の説明があった。

次に、各業団体の要望について説明があった。

地調協の田中会長は、地図作りの立場から、電子国土基本図の3次元化は国家的基盤であるが、目的別利用に変換するための一般化が不可欠であり当協会はその標準化を担い得る民間唯一の組織である。地形理解の地図の普及を国家的施策として位置付ける必要がある。空間情報編集技術者が全国的に不足し、DX・防災を支える編集技術者の人材育成が急務であることを強調した。

最後に、国土情報基盤整備の促進に関する決議（案）が審議された。国土基盤情報を国家の基礎インフラと位置づけ、電子国土基本図の3次元化を着実に推進する。防災・減災や都市整備に資する地理空間情報の整備を強化する。測量・地図分野の人材育成を一体的に進めること。これらの施策を安定的に実行するための予算を確保すること。などが原案のとおり採択された。今回の決議は、国土強靭化や持続可能な社会形成を支える国家戦略として推進していく姿勢を示すものである。

2026（令和８）年５月29日

国土情報基盤整備促進議員連盟総会における
一般社団法人地図調製業協会の発言

発言者：業務執行理事 五本木秀昭

本日は発言の機会をいただき、誠にありがとうございます。

ただいま国土地理院からご説明がありましたように、国土情報基盤は、我が国の安全保障、国土強靱化、そしてDXを支える極めて重要な社会基盤であり、当協会としてもその推進を強く支持しております。

現在、自動運転、スマート農業、防衛分野など、機械を正確に制御し、迅速に判断するための高精度空間情報基盤の整備が進められています。これは、産業競争力と安全保障の両面から極めて重要です。

一方で、国土情報基盤を真に社会実装へつなげるためには、整備したデータを継続的に更新し、品質を維持し、適切にメンテナンスしていく仕組みが不可欠です。道路、建物、土地利用、災害リスクなどは常に変化しており、更新されないデータは、現場の判断を誤らせるおそれがあります。

また、社会実装の現場では、機械が使える情報だけでなく、人が理解し、判断し、行動できる情報が必要です。防災、危機管理、自治体DX、教育、地域創生などの分野では、利用目的や状況に応じて、空間情報を分かりやすく整理し、伝える編集技術が求められます。

私どもは、これからの地図調製技術を、国土情報基盤を「判断できる空間基準」へ変換する空間情報編集技術と位置づけ、継続的な更新・メンテナンス体制と人材育成を、社会実装の重要な柱として位置づけていただきたいと考えております。

当協会としても、地図調製技術の専門団体として、国土情報基盤を社会の判断基盤へつなげる役割を果たしてまいります。

以上、当協会からの意見とさせていただきます。

5. ジオ展出展

2026年4月28日（火）10：00～17：00、大手町三井ホールにて、「ジオ展2026」が開催され、地調協から会長をはじめ業務執行理事等8名が参加し、ジオ展に初出展した。

地調協のパンフレット及び地図ジャーナルを配布し、各参加団体との名刺交換、地図調製技術に関する意見交換及び地調協の会員勧誘等を行い有意義な出展であった。

ジオ展実行委員会の報告によると、来場者数 1,360名、出展者427名、メディア関係者18名、計 1,805 名が参加し会場は大盛況であった。

6. 地図ジャーナル発行

2026年1月地図ジャーナル No.192 を発行した。

＜特集＞

・国土地理院が電子国土基本図3D データ追加を発表
　これからの地図・空間情報ビジネスはどう変わるのか？
・3次元電子国土基本図のリリースを受けて
・“電子国土基本図”をどう使い、どう産業化するか
　～社会実装と地図調製技術の再定義～

オンライン地図ジャーナル

7/1、7/24、7/25、8/6、8/18、10/8、1/31、2/6、4/3、4/13、計10回発行

7．児童生徒地図作品展の後援

全国児童生徒地図作品展連絡協議会の参加団体（13団体）が主催する児童生徒地図作品展について、5団体の地図作品展の後援及び表彰状の贈呈等を行った。

・札幌市児童生徒社会研究作品展（札幌市地図教育研究会）
・私たちの身のまわりの環境地図作品展（環境地図教育研究会「旭川市」）
・多摩市身のまわりの環境地図作品展（多摩市身のまわり環境地図作品展運営委員会）
・地図ならびに地理作品展（広島県地理作品展運営委員会）
・鳥取県児童生徒地域地図作品展（鳥取県地域社会研究会）

Ⅳ 第15回臨時総会議事録

令和7年10月15日に開催された理事会において、定款第19条の規定に基づく総会の決議である事項（以下「提案事項」という。）について提案があり、審議の結果、提案事項は承認された。

提案事項について、同意を求める書面を令和7年12月4日社員全員に送付し、提出期限の令和7年12月19日までに、提案事項に同意する同意書が社員全員から提出された。

提案事項は、総会の決議があったこととみなされたので、議事録を作成する。

1. 社員総会の決議があったものとみなされた事項

（1）理事の辞任及び後任理事の選任

種 別	氏 名	所 属
理事の辞任	岩舘 隆	（一財）日本地図センター
理事の選任	山口 桂司	（一財）日本地図センター

＜事由及び経緯＞

・令和7年9月1日、岩舘 隆「（一社）日本地図センター」理事より理事辞任届の提出
【※辞任理由、「（一社）日本地図センター」退職のため】

・令和7年9月8日、「（一社）日本地図センター」へ役員候補者の推薦依頼

・令和7年9月16日、「（一社）日本地図センター」より役員候補者推薦について回答
推薦者 山口 桂司 氏（役職名 常務理事、事務局長）

（2）定款の改正、新旧対照表

条項	新	旧
（開催） 第13条	総会は、定時総会として年1回開催するほか、必要がある場合に開催する。	総会は、定時総会として毎年5月に1回開催するほか、必要がある場合に開催する。
	＜改正理由＞ 定時総会は5月に開催することが規定されているが、関係団体では当協会の総会直後に総会が開催される団体が多く、当協会の理事を選任した直後に理事の交代が必要となる場合がある。理事選任の直後に理事が交代することがないよう、関係団体と同時期に総会を開催することとし、開催月の5月を削除し、年1回開催に改正する。	

2. 提案者　代表理事（会長） 田中 尚行

3. 社員総会の決議があったものとみなされた日　令和7年12月19日

4. 議事録の作成に係る職務を行った者の氏名
一般社団法人地図調製技術協会 事務局長 鳩谷 昇